

I G C C実証機 運転再開にあたって

7月28日、当社I G C C実証機は、石炭ガス化発電による電力の送電を開始致しました。

I G C C実証機は、3月11日の東日本大震災により、津波の襲来と相俟って大きなダメージを受けました。以来、約4ヶ月の間、原子力災害の影響も受けた物資不足、人員確保の困難、復旧過程での様々な課題の発生などに対し、全社が一丸となって解決を図りながら、復旧に努めてまいりました。

その間、関係諸機関、関係諸企業の方々の全面的なご協力をいただくとともに、地域の皆様からも温かいご支援・ご理解を賜ってまいりました。これらの全てが結実し、今夏の厳しい電力供給事情の緩和に少しでも貢献すべく、運転の早期、できうれば7月中再開、との悲願を達成することができました。

ここに、あらためて、関係する皆様に心から御礼を申し上げます。

当社I G C C実証機は、研究設備ではあるものの、20万kW以上の送電能力を有しております。引き続き、安定運転の実現に努め、電力の安定供給に貢献しつつ、新たな研究課題にも積極的に挑戦し、世界最高効率の石炭火力発電技術である空気吹きI G C Cの実用化に向け、進んでまいり所存です。

これを通じて、微力ではありますが、震災からの復興に寄与し、ご支援をいただいております皆様へご恩返しをさせていただきたく存じます。

引き続き、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

(株)クリーンコールパワー研究所
代表取締役社長 渡辺 勉